

第2章 事後調査の実施に関する事項

第 2 章 事後調査の実施に関する事項

2.1 事後調査の考え方

事後調査とは、環境影響が予測されるとして調査・予測評価を行った環境影響評価項目に対して、予測評価の不確実性を補い、環境の保全のための措置等の適正な履行状況を確認することを目的とし、対象事業実施区域及びその周辺の環境調査、施設の状況調査等を実施するものです。

事後調査は、環境影響評価において環境に及ぼす影響が比較的大きいと想定された環境影響評価項目、並びに予測評価において不確実性が大きい環境影響評価項目を対象として行います。

2.2 評価書で記載した事後調査の項目

評価書において予測評価を行った環境影響評価項目のうち、工事中を対象に事後調査項目として選定した理由、並びに選定しなかった理由は、表 2.2-1 に示すとおりです。

表 2.2-1 事後調査項目の選定・非選定の理由（工事中）

項目	環境影響要因	選定の有無	選定した理由・選定しない理由
温室効果ガス	建設機械の稼働 工事用車両の走行	×	本事業の工事の実施に伴う二酸化炭素排出量は約1.4万t-CO ₂ と予測されますが、低炭素型建設機械を採用するなど、環境の保全のための措置を適切に実施する計画としており、排出量の抑制を図ることが可能と考えられるため、選定しません。
建設発生土・廃棄物	一般廃棄物	×	工事の実施に伴い発生する一般廃棄物については、分別の徹底及び排出抑制を行うため、選定しません。
	産業廃棄物	○	本事業の工事において、再資源化率やリサイクル率、環境の保全のための措置の実施状況等を把握するため、選定します。
	建設発生土	○	
大気質	建設機械の稼働	○	本事業の工事に係る建設機械の稼働に伴う大気汚染の影響は、環境基準を達成するものの、環境保全目標を上回るため、予測の不確実性を補完するとともに、環境の保全のための措置の実施状況を把握するため、選定します。
	工事用車両の走行	×	本事業に係る工事用車両の走行に伴う沿道大気環境への影響の程度は小さいと考えられるため、選定しません。
	建物の解体・建設	×	本事業に係る既存建築物の解体工事にあたり、アスベストが使用されていた場合は、法令に基づき別途横浜市に届け出るとともに、飛散等のないよう適切な措置を講じたうえで法令等に従って適切に除去するため、選定しません。
騒音	建設機械の稼働	○	本事業に係る建設機械の稼働に伴う騒音の影響は、環境保全目標を達成するものの、比較的高い予測値となっているため、予測結果を補完するとともに、環境の保全のための措置の実施状況を把握するため、選定します。
	工事用車両の走行	×	本事業に係る工事用車両の走行に伴う道路交通騒音の影響の程度は小さいと考えられるため、選定しません。
振動	建設機械の稼働	○	本事業に係る建設機械の稼働に伴う振動の影響は、環境保全目標を達成するものの、比較的高い予測値となっているため、予測結果を補完するとともに、環境の保全のための措置の実施状況を把握するため、選定します。
	工事用車両の走行	×	本事業に係る工事用車両の走行に伴う道路交通振動の影響の程度は小さいと考えられるため、選定しません。
地盤 (地盤沈下)	地下掘削	×	本事業に係る地下掘削工事にあたっては、剛性が高く遮水性に優れるソイルセメント柱列壁等の対策を講じることで、地下水位の低下による地盤沈下を抑制できると考えられるため、選定しません。 また、関係機関と事前打合せを行い、対象事業実施区域の地下に運行している横浜市営地下鉄ブルーラインや電力等の埋設インフラに悪影響を与えない工事計画とします。
地域社会 (交通混雑)	工事用車両の走行	○	本事業に係る工事用車両は、周辺の交差点の交通処理に過剰な負荷をかけることはないと考えられますが、同時に街区内道路の廃道・再編を行う計画のため、予測の不確実性を補完するとともに、環境の保全のための措置の実施状況を把握するため、選定します。
地域社会 (歩行者の安全)	工事用車両の走行	×	本事業の工事中の歩行者の安全は、工事関係者への教育指導や交通誘導員の配置、仮設歩道の設置等の対応によって確保できると考えられるため、選定しません。

2.3 評価書で記載した事後調査の手法

選定した事後調査の項目の調査内容等は、表 2.3-1(1)～(2)に示すとおりです。

現地調査を伴う調査は、工事の進捗等を踏まえて実施するため、調査位置、調査時期はその状況に応じて前後する可能性があります。

なお、事後調査の対象として選定しなかった環境影響評価項目についても、環境の保全のための措置の実施状況を確認し、選定した項目の事後調査結果とあわせて報告します。

表 2.3-1(1) 事後調査の内容（工事中）

項目	調査項目	調査頻度	調査位置	調査時期	調査方法
廃棄物・建設発生土	産業廃棄物、建設発生土の発生量及び処分量	工事期間中全般	対象事業実施区域内	工事期間中	工事現場の廃棄物処理計画に基づき、廃棄物の分別項目ごとに月単位で集計します。 また、既存建築物解体前の調査でアスベスト含有建材の使用が確認された場合は、アスベストを含有する廃棄物の発生量、処理方法、処分量及び担当部署への報告状況を取りまとめます。
	環境の保全のための措置の実施状況	適宜	対象事業実施区域内	工事期間中	工事資料の整理及び関係者へのヒアリングにより把握します。 また、必要に応じて、 <u>実施状況の写真撮影等の現地調査を行います。</u>
大気質	建設機械の稼働に伴う大気質(二酸化窒素)濃度	1週間	影響が最大と想定される工事敷地境界付近の1地点	予測時点(本事業の工事の最盛期)	「二酸化窒素に係る環境基準について」に基づく測定方法により調査します。
	環境の保全のための措置の実施状況	適宜	対象事業実施区域内	大気質濃度の調査と併せて実施	現地調査による目視及び工事資料の整理により把握します。 また、必要に応じて、 <u>実施状況の写真撮影等の現地調査を行います。</u>

注1) 下線は、評価書の記載内容から追加した箇所です。

注2) 事後調査の対象として選定しなかった環境影響評価項目

- ・温室効果ガス [建設機械の稼働、工事用車両の走行]
- ・一般廃棄物 [建物の解体・建設]
- ・大気質 [工事用車両の走行、建物の解体・建設]
- ・騒音 [工事用車両の走行]
- ・振動 [工事用車両の走行]
- ・地盤(地盤沈下) [地下掘削]
- ・地域社会(歩行者の安全) [工事用車両の走行]

表 2.3-1(2) 事後調査の内容 (工事中)

項目	調査項目	調査頻度	調査位置	調査時期	調査方法
騒音	建設機械の稼働に伴う騒音レベル	平日1日	影響が最大と想定される工事敷地境界付近の1地点	予測時点(本事業の工事の最盛期)において、工事時間に前後1時間を加えた時間帯	「騒音に係る環境基準について」等に基づく測定方法により調査します。
	建設機械の稼働台数・概ねの稼働位置	平日1日	対象事業実施区域内	騒音レベルの調査と併せて実施	現地調査による目視及び工事資料の整理により把握します。
	環境の保全のための措置の実施状況	適宜	対象事業実施区域内	工事期間中	工事資料の整理及び関係者へのヒアリングにより把握します。 <u>また、必要に応じて、実施状況の写真撮影等の現地調査を行います。</u>
振動	建設機械の稼働に伴う振動レベル	平日1日	影響が最大と想定される工事敷地境界付近の1地点	予測時点(本事業の工事の最盛期)において、工事時間に前後1時間を加えた時間帯	「JIS Z 8735(振動レベル測定方法)」等に基づく測定方法により調査します。
	建設機械の稼働台数・概ねの稼働位置	平日1日	対象事業実施区域内	振動レベルの調査と併せて実施	現地調査による目視及び工事資料の整理により把握します。
	環境の保全のための措置の実施状況	適宜	対象事業実施区域内	工事期間中	工事資料の整理及び関係者へのヒアリングにより把握します。 <u>また、必要に応じて、実施状況の写真撮影等の現地調査を行います。</u>
地域社会 (交通混雑)	工事用車両の走行台数	平日1日	現地調査を行った主要交差点のうち、下記の2交差点と工事現場出入口 ・地点8(尾上町) ・地点10(関内駅北口)	予測時点(本事業の工事の最盛期)において、工事時間に前後1時間を加えた時間帯	工事現場出入口では、車種別の入出庫記録を整理し、15分単位で集計します。 交差点では、方向別、車種別、時間帯別に通過交通量を観測し、15分毎に集計します。
	環境の保全のための措置の実施状況	適宜	対象事業実施区域内	工事期間中	工事資料の整理及び関係者へのヒアリングにより把握します。 <u>また、必要に応じて、実施状況の写真撮影等の現地調査を行います。</u>

注) 下線は、評価書の記載内容から追加した箇所です。

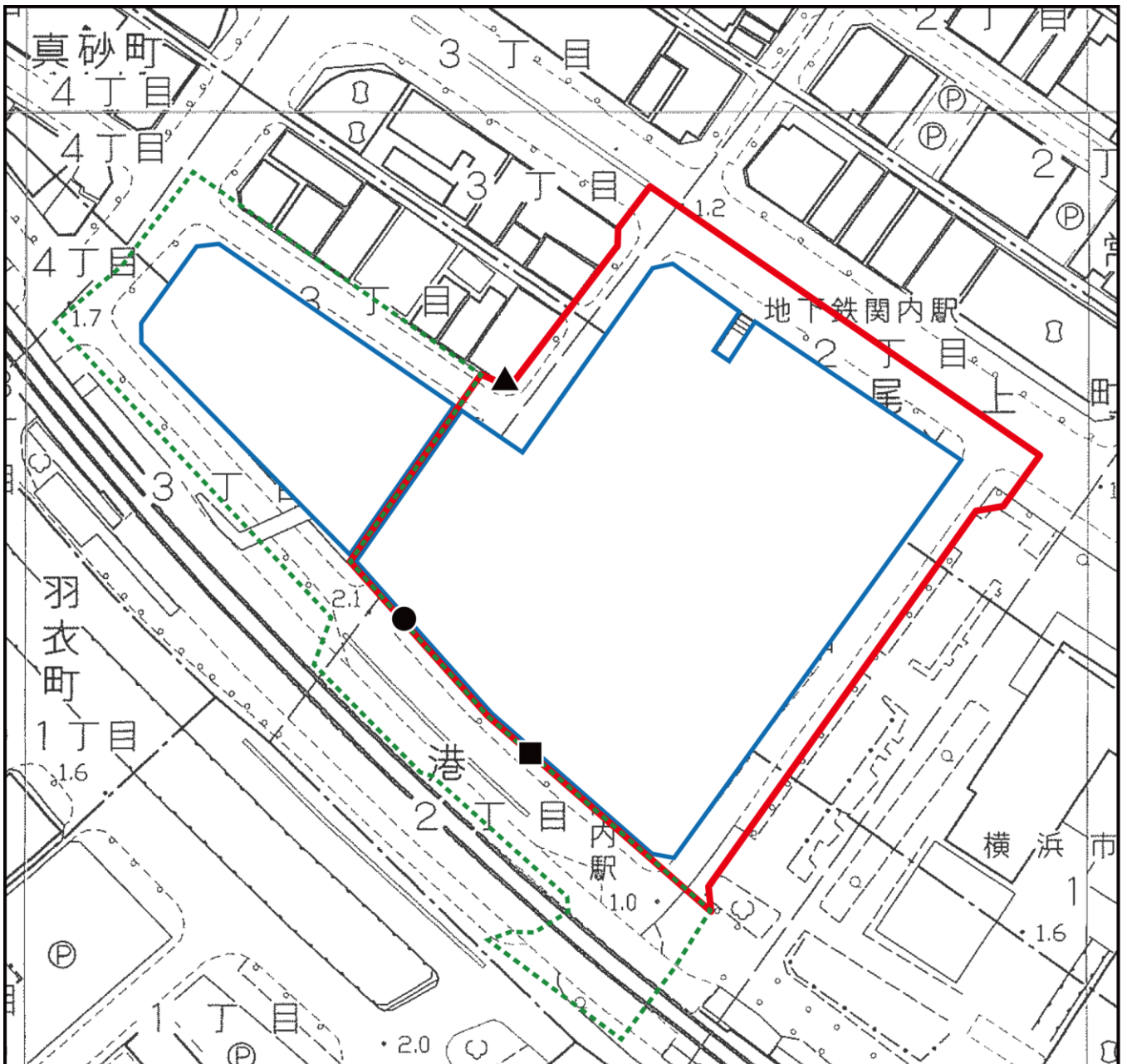


図 2.3-1 調査予定地点位置図 (大気質、騒音、振動)

この地図は、横浜市の承認を得て電子地形図 2,500 を複製したものである。(横浜市地形図複製承認番号 令 7 建都計第 9114 号)

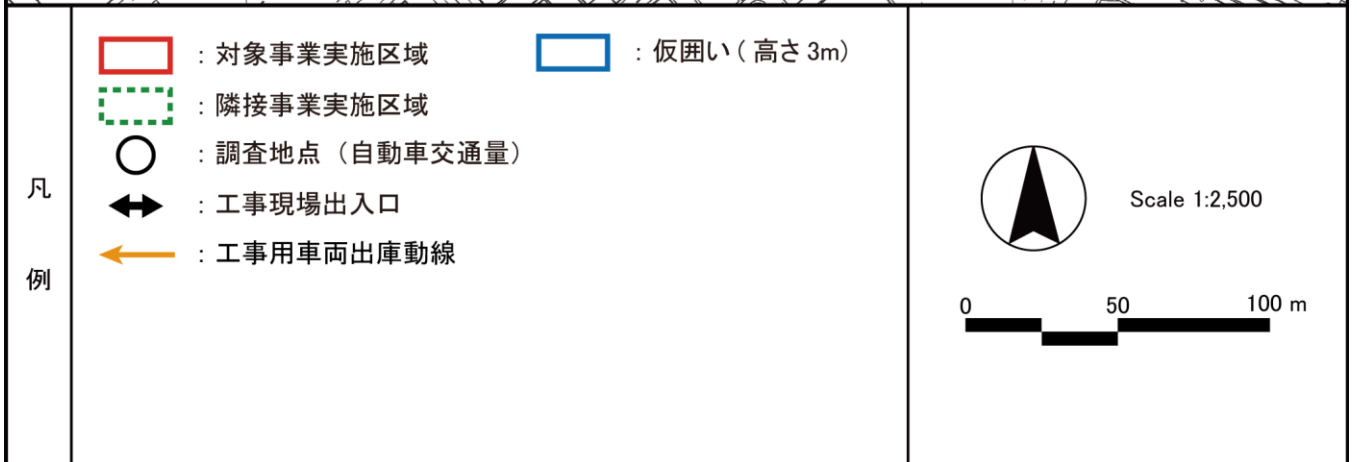
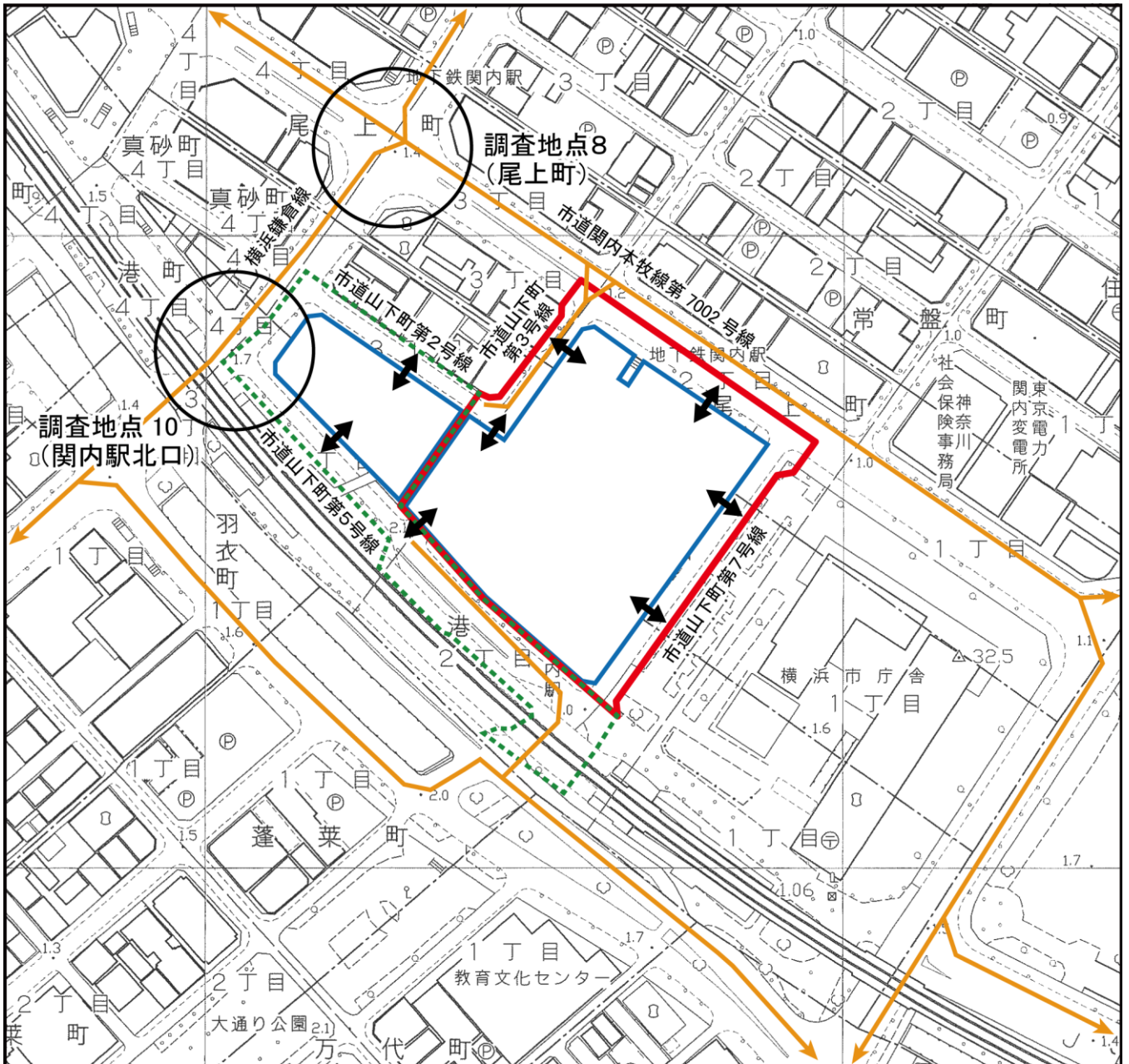


図 2.3-2 調査予定地点位置図(地域社会(交通混雑))

この地図は、横浜市の承認を得て電子地形図2,500を複製したものである。(横浜市地形図複製承認番号 令7建都計第9114号)

2.4 評価書で記載した事後調査の実施内容に関する事項に検討を加えたもの

環境の保全のための措置の実施状況の調査方法に、必要に応じて実施状況の写真撮影等の現地調査を行うことを追加しました。

2.5 事後調査の実施時期及び事後調査結果報告書を提出する時期

本事業の工事中の事後調査の実施予定時期及び事後調査結果報告書の提出予定時期は、表 2.5-1 に示すとおりです。

本事業の工事は、長期に渡るため、工事中の事後調査結果報告書は、2回に分けて提出する予定です(工事中その1:2028年(令和10年)1月提出予定、工事中その2:2031年(令和13年)5月提出予定)。ただし、現地調査は、工事の進捗等を踏まえて適切な時期に実施するため、個々の予定は前後する可能性があります。

なお、「事後調査結果報告書(工事中その1)」及び「事後調査結果報告書(工事中その2)」において、「1.4 工事中に配慮する事項」(p.18~22参照)に示した全項目の環境の保全のための措置の実施状況を報告します。

2.6 事後調査報告書の内容

「事後調査結果報告書(工事中その1)」及び「事後調査結果報告書(工事中その2)」において報告する内容は、以下を予定しています。

【事後調査結果報告書(工事中その1)】

(1) 事後調査結果

- ①廃棄物 建設発生土
- ②大気質
- ③騒音
- ④振動
- ⑤地域社会(交通混雑)

(2) 環境の保全のための措置の実施状況

「1.4 工事中に配慮する事項」(p.18~22参照)に示した全項目の実施状況

【事後調査結果報告書(工事中その2)】

(1) 事後調査結果

- ①廃棄物 建設発生土

(2) 環境の保全のための措置の実施状況

「1.4 工事中に配慮する事項」(p.18~22参照)に示した全項目の実施状況

表 2.5-1 事後調査の想定スケジュール（工事中）

本事業

年月(予定)	2026年度												2027年度												2028年度												2029年度												2030年度												2031年度			備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月													
工事開始後経過月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	
工種	解体工事																																																															
	準備工事																																																															
	山留工事																																																															
	杭工事																																																															
	掘削工事																																																															
	基礎躯体工事																																																															
	地下鉄骨工事																																																															
	地下躯体工事																																																															
	地上鉄骨工事																																																															
	地上躯体工事																																																															
	外装工事																																																															
	内装・設備工事																																																															
	外構工事																																																															
	交通広場整備工事																																																															
基盤整備工事																																																																
検査																																																																

隣接事業

年月(予定)	2026年度												2027年度												2028年度												2029年度												2030年度												2031年度			備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月													
工事開始後経過月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	
工種	解体工事																																																															
	準備工事																																																															
	山留工事																																																															
	杭工事																																																															
	掘削工事																																																															
	基礎躯体工事																																																															
	地下鉄骨工事																																																															
	地下躯体工事																																																															
	地上鉄骨工事																																																															
	地上躯体工事																																																															
	外装工事																																																															
	内装・設備工事																																																															
	外構工事																																																															
	基盤整備工事																																																															
検査																																																																

事後調査の実施時期	廃棄物・建設発生土	産業廃棄物、建設発生土の発生量及び処分量	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後10ヶ月目		
	大気質	建設機械の稼働に伴う大気質(二酸化窒素)濃度	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後10ヶ月目		
	騒音	建設機械の稼働に伴う騒音レベル	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後10ヶ月目		
		建設機械の稼働台数・概ねの稼働位置	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後10ヶ月目		
	振動	建設機械の稼働に伴う振動レベル	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後10ヶ月目		
		建設機械の稼働台数・概ねの稼働位置	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後10ヶ月目		
地域社会(交通混雑)	工事用車両の走行台数	2026年度末までの実績値を集計																																																												2027年4月～計画建築物竣工までの実績値を集計			ピーク想定時期 工事開始後18ヶ月目			
環境の保全のための措置の実施状況		環境の保全のための措置の実施状況																																																															環境の保全のための措置の実施状況			工事期間全般において確認
事後調査結果報告書を取りまとめ、提出する時期		事後調査結果報告書(工事中その1)																																																												事後調査結果報告書(工事中その2)			提出(予定)			

※ ・・・:事後調査結果を報告書に取りまとめる時期を示しています。